



伊野-INO-

〜やつて未来こい！

いの ENO暮らし2030〜



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530
E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区情報発信部会
Instagram



伊野コミュニティセンター
ブログ



一伊野地区の人口ー
(R7.4月末現在)

男性… 522人
女性… 558人
合計… 1,080人
世帯数… 401世帯

伊野バージョン 夏の大会戦！

7/27

参加者65名

伊野地区西地合海岸にて、島根大学教育学部生と子どもたちと住民による夏の伊野バージョンを開催しました。今年は敵味方に分かれて、水鉄砲を使った当てゲームです。敵大学生の頭につけた的をめがけて、子どもたちは水鉄砲で狙い撃ち！的は金魚すくいを使うボーイです。敵大学生も応戦するため、水鉄砲から放たれた海水が縦横無尽に飛び交いました。周りで見ている私たちには、どこがどうなっているのか分からないほど交さくしていましたが、とにかくみんながとても楽しそうでした！

お昼は雨どいを使って流しソーメン。ソーメン以外にも色々流しました。きゅうり、トマト、ソーセージやゼリーなどなど。こちらも盛り上がりしました！赤名地区からも参加してくださり、帰る頃にはすっかり仲良くなりました。

大学生が企画する伊野バージョンは、伊野地区ならではの魅力ある活動です。今年度は10月と2月にも予定しています。みんなで伊野バージョンに参加して大いに盛り上がりましょう！！
(自主企画事業 まちづくり部)



いの夏祭り5年ぶり開催！

8/13



5年ぶりとなる「いの夏祭り」を開催したところ、たくさんの方々に参加していただき、久しぶりの友だちとの再会や近所さん同士との交流など皆さんが笑顔で楽しんでいる姿に、改めて地域に必要な「交流の場」としてこの先も残していきたい「お祭り」だと感じました。ご協力いただいた皆様、ご出店・ご来場いただきました皆様、御花を頂戴しました皆様、ありがとうございます。

(伊野夏祭り実行委員会 代表 多久和 秀政)



やって未来こい!通信

続報

5/25 第4回ino.ti子どもマーケット開催 参加者200名



5月25日、第4回目となる子どもマーケットを開催しました。当日は雨の降る中たくさんの子ども達に会場していただき、いつもの賑わいを見せていました。



今年も伊野小学校をはじめ、高松小学校、乃木小学校からも出店を希望する児童があり、ボランティアでは向陽中学校の生徒が多数参加してくださり開催することができました。遊びに来てくれる子ども達が、お店をやってみたい!と言ってくれるように来年も開催していきたいと思えます。

(ino.ti~中山間地域の未来へ
代表 兼折 治加)

7/12 第1回ゲームナイト開催 参加者28名

初めての試みとして、7月12日にゲームナイトを開催しました。人生ゲーム、オセロ、UNOなど大人から子どもまで幅広い年齢層の方が楽しめるよう準備をしました。当日はたくさんの方にお越しいただき、



子どもも大人も一緒にゲームを楽しむ姿を見ることができました。手加減なく、本気でボードゲームを楽しむ夜になったのではないかと思います。

次は大人だけでやってみたい...と密かに思っているの、告知を楽しみにお待ちください!

(ino.ti~中山間地域の未来へ
代表 兼折 治加)



8/10 ~ 8/15 伊野国際ワークキャンプ開催

キャンパー日本人3名、外国人4名

国際ワークキャンプとは、世界各国から仲間が集い、その地域で寝泊まりしながら住民と共に活動を行うプログラムのことです。今年も国内外から7名(宮城、静岡、滋賀、イタリア、ロシア、ベトナム)のキャンパーが伊野を訪れ、いのっ子と遊んだり、トレランコースの伐採など様々な活動をしてくれました。特に「いの夏祭り」では、準備から片付けまで地域の皆さんと一緒に、交流を深める事が出来ました。とても地域に貢献できた伊野ワークキャンプでした。

(伊野国際ワークキャンプ実行委員会 代表 多久和 秀政)



6/10 平田高校1年生ウイングバスツアー受入

地域協働学習の一環で平田高校1年2組の36名が伊野を来訪。始めに事務局長の多久和祥司さんが生徒からの質問に答えながら、伊野地区の現状と取組についてお話されました。次に古民家たるみ邸を見学し、地合漁港では漁業会の佐藤正吉さんから後継者問題についてのお話などを伺いました。生徒の皆さんは今回現地を視察し、見て聞いて感じたことを整理し、さらに学びを深めていくようです。



救命法講習会開催

6/14 参加者19名

伊野地区ではFR隊の再講習会に合わせて年2回普通救命法講習会を実施しています。この日は平田消防署の益田さんをお迎えし、人形を使った心肺蘇生法とAEDの使い方について講習を受けました。また、出雲市消防本部で令和5年度から導入されたライブ119について、実際に指令課と通信を接続し、映像を共有する訓練も行いました。このシステムは特に火事や事故現場の状況を映像で消防署へ伝えることで、より適切な応急処置の指示が可能と期待されています。

今後も年2回講習会を開催いたします。次回は12月14日です。どなたでも無料で講習を受けることができます。大切な人の命を守るために。皆様のご参加をお待ちしています。



ブンブンズ ~海岸の和ハーブ観察会~



自然を楽しむ会“ブンブンズ”。この日は伊野を飛び出して、大社の海岸へ。里山では見られない海端に自生する野草を観察しに出かけました。海岸沿いを歩くと一面に紫色の可愛い花が。ハマゴウが一面に蔓延っていました。ミントのような爽やかな香りと薔薇のような形の葉、紫色の花が特徴的。他にも天然のオカヒジキやカワラヨモギ、年々数が減っているハマボウフウも見つけることができました。ハマボウフウの種を割ると山椒のような香りが、カワラヨモギは触るとねっとりします。収穫した和ハーブは調理してみんなで試食しました。見て嗅いで触って食べて...。本や写真ではこの感触は味わえません。今回もとても楽しい観察会となりました。調理室を貸していただきました平田コミセンさん、ありがとうございました。

(ブンブンズ~自然を楽しむ会~)



7/29 参加者16名

プチわくわくひろば cooking!

親子で作ろう！ 手打ちうどん

参加者22名

昨年好評だった手打ちうどん作りを、今年も開催しました！親子や友達と一緒に参加してくださり、おとな9名、こども13名、合計22名の参加がありました。材料は、小麦粉・塩・水の3つだけ！少ない材料で、とても美味しい手打ちうどんが出来上がります。こねたり、まるめたり、ふんだり、のぼしたり、、、未就学児のこども達も手伝ってもらいながら、とても上手に作っていました。初めて参加してくださった方、前回は参加してくださった方も、皆さん美味しいうどんが完成して、とても満足しておられました。参加して下さった皆さま、ありがとうございました！



（自主企画事業 子育て支援部）

いいぞ！伊野いち



初夏のような日差しが照り付けるほどの晴天に恵まれ、今年度第1回目となる伊野いちが開催されました。新鮮野菜に魚にしじみ、メダカや幻のちまき「しほ」や伊野米などたくさんの伊野の産品が並べられ来場の皆さんに大好

評。いのっ子たちはおもてなしコーナーでぜんざいのふるまい、商品の袋詰め、小学校で育てたじゃがいもの販売など大忙し。活気に満ち溢れ、出品者とスタッフ、お客様が一体となった賑やかな産直市となりました。次回は10月17日に開催予定です。



「災害に備えて防災意識と自助努力を高めよう」 防災講演会開催

参加者15名

8月10日（日）に、伊野地区に警戒レベル4の避難指示が発令されました。地区災害対策本部を設置し、避難者が1名、田の畦畔の崩れが1か所あり対応しました。

毎年のように、大雨警報や避難指示が発令され、その都度、地区災害対策本部を設置して対応してきました。今のところ大災害には至っていませんが、伊野地区には、土砂災害が発生した場合に住民の生命や身体に著しい危険が生じる可能性があることとされる土砂災害特別警戒区域が41か所あります。線状降水帯が発生した場合等に被害が大きくなることが心配されます。こうした中、今年の入梅前に、島根県立大学出雲キャンパスの渡邊克俊先生を講師に招き、地区災害対策本部役員を対象とした防災講演会を開催しました。講演の要旨は以下の通りです。参考にしていただければ幸いです。



▲「防災講演会」

講演の要旨

防災で、最も力を入れるのは「自助」である。

防災という観点で言えば、「自助」「公助」「共助」がある。自分の生命・財産を守るためには、「自助」の意識を高めることが最も大切である。

学んだことを体験・経験・訓練することで自分ごとに

する。防災意識を高めるためには、まず、防災の特性・対応策等を学ぶ。→そして自分や家族の避難計画を立てる。→それを体験・経験してみる。→うまくいったものと改善するものに付け計画を見直す。→それを実践し→検証を行う。これを繰り返すことで、徐々に自分や家族の避難計画ができていく。最初は不安だが、継続することで確信や自信に変わっていく。

非常事態には、「自分は大丈夫」という「正常性バイアス」が働くことも・・・

避難しなければならないときに、なかなか行動に移せないことがある。人は、根拠がないのに「自分は避難しなくても大丈夫」という心理に陥ることがある。これを正常性バイアスと言う。

このような心理状態になると結果的に逃げ遅れることとなり危険である。この様な時には、「正常性バイアス」の心理が働いているかも意識し、身の安全を最優先に考え早めの避難行動につなげていくことが重要である。

この講習を受けて地区の皆さんと一緒に、「防災研修」や「訓練」等を実施したいと考えています。皆さんの参加をお願いします。

（伊野地区災害対策本部長 錦織 宏）

▲「8月10日畦畔崩落」



安来市荒島地区視察研修

6/29

参加者38名

運営委員・事業委員・未来こい！ネット合同で視察研修を実施。安来市荒島地区にあるみらい荒島代表の勝部会長より荒島地区の現状と取組についてお話を伺いました。荒島地区では住民アンケートの結果を踏まえて住民が集まって勉強会を開催し、令和元年に課題解決を担うため3つの部会が構成される「未来あらしま」を設立。「ライフサポート部」では自力で外出することが困難な高齢者の買い物・通院支援を実施。「きない家部」では無人駅となった荒島駅を高校生とリノベーションし、そこで子ども食堂や演奏会、カフェなどのイベントを開催。住民の居場所を創出しています。また「防災部」では消防団と連携し防災新聞の発行や防災フェスティバルなどを開催。防災意識の向上に力をいれておられます。荒島地区の皆さんは疲弊感もなく、誰もがいきいきとしておられました。勝部会長の「自分たちが楽しむ」という言葉にヒントがある気がしました。今回研修で学んだことを今後の伊野の取組に生かしていきたいと思っています。



（コミセン運営委員会・事業委員会）

夏休み子ども預かり事業 いのっ子教室

バブルアート & クッキング

8/6

8/21

参加者17名 参加者17名

夏休みのいのっ子教室イベント第1弾はバブルアートです。バブルアートは、絵の具を混ぜたシャボン液をストローで吹いて、その泡で絵を描きます。当日は兼折治加さんを講師に迎え、17人の子どもたちがチャレンジし、カラフルな扇子を作りました。最初に絵を描いてから泡で色付けする子や、コップの中でモリモリの泡を作ってから、その泡を扇子に移すという新しいやり方を思いつく子。泡だらけになった扇子もありましたが、子どもの感性は面白い！子どもたちから「バブルアート最高！」という声も聞こえてきました。見ているこちらも最高！



▲「バブルアート」



▲「クッキング」

第2弾はクッキング。兼折智栄子さんを講師に迎え、17人の子どもたちが参加。キーマカレー入り肉まんを作って食べました。

いのっ子習字教室 お楽しみ会

8/20

参加者14名

いのっ子教室では毎月2回放課後にコミセンで習字教室を行っています。8月の習字はお休みでしたが、代わりにお楽しみ会として三瓶青少年交流の家に行き、カラオケやウォークラリーをして楽しみました。



青パト隊・交安協、 交通安全教室に参加

6/11

参加者8名

小学校で開催された交通安全教室に、6名の青パト隊の皆さんと交通安全協会の池尻会長及び多久和交通指導員が参加されました。初めに児童と隊員の皆さんの顔合わせを行い、その後児童は安全な自転車の乗り方などを小境駐在所の岡村巡査部長から教わりました。隊員の皆さんも児童らに声を掛けながら安全指導を行っていました。



日々子どもたちの安全に配慮し、パトロールしてくださっている青パト隊の皆さん。登下校時に児童・生徒たちに「おはよう」「おかえり」「気を付けてね」と声を掛け、見守ってくださる交通指導員や見守り隊の皆さん。ご尽力に感謝いたします。

（交通安全協会・子どもの安全を守る会）

赤ちゃん紹介



男の子

やまもと れお

山本 礼央 くん



令和7年7月16日生まれ
父：照明さん、母：友美さん
(中ノ手町内)

両親からのメッセージ

兄弟仲良く、元気に育ってね。

伊野小2年生 まち探検

5/23

3名来館

毎年恒例のまち探検。今年も個性あふれる元気な3名の児童がコミセンを訪ねてきました。始めに館内を見学。初めて入る倉庫や2階に大はしゃぎ。センター長にたくさん質問をしていました。後日見学の御礼にと手書きのお手紙を届けてくれました。コミセン玄関に掲示しています。これからも気軽にコミセンに遊びに来てくださいね。
(コミセン職員一同)




SDGsで地球を守ろう 海岸清掃実施

7/20

参加者50名

海水浴シーズンを前に、西地合漁業会主催による海岸清掃が行われ、地元西地合町内会やコミセンまちづくり部員、地区環境保全連合会役員、小学生や地区有志の皆さんが参加されました。早朝の暑い中での作業でしたが約1時間ほどで、大量のゴミが集まりました。多くはプラスチックゴミ。これらはボイ捨てゴミなどが川から海へと流され漂着したものです。魚がこれらを誤食してしまうと今までの様に魚が食べられなくなってしまう。キレイにすることも大切ですが、ゴミをなくすにはまずは捨てないこと、見つけたら拾うことを誰もが実践していきたいですね。

参加者の皆さん、お疲れ様でした。(環境保全連合会伊野支部)




原田優斗さん表彰される

5/23

向陽中学校2年の原田優斗さん(引木町内)がこの度、出雲市ボイ捨て禁止推進協議会より環境美化表彰を受賞されました。優斗さんは小学校3年生の頃から伊野小学校に通う中、登下校中の道路にボイ捨てゴミが落ちてるのが目に付くようになり、一人でゴミ拾いを始めました。そしてその後中学生になった今でも伊野地区をゴミのないきれいな町にしたい一心でゴミ拾いを続けています。この度の受賞は、この活動が称賛されたものです。

ゴミをゴミ箱に捨てることはできていても、拾うことまでできているか、自問自答してしまいます。優斗さんの行動を見習ってみんなでキレイな伊野を守っていきましょう。

優斗さん、この度は受賞おめでとうございます。
(出雲市環境保全連合会伊野支部)



伊野ふるさと探訪 Part41 ～番外編～

「稲荷神社」

元は八幡(西上町内)の倉の後ろ、茶畑の所にありましたが明治の中期に八幡宮の末社へ移転。その後、令和元年に八幡宮の併合に伴い蘆高神社の境内へ移転されました。戦前までは商家・農家の信仰が厚かったということです。稲荷は朝鮮より渡来 of 神ですが、当初は農業の後に商売の下院となり、企業のビルの屋上にも多く祀られていました。

(郷土誌研究会 常松 士郎)



祝！全国大会出場

向陽中3年の多久和壺都さん(三ノ谷町内)が7月20日に行われた島根県中学校総合体育大会陸上競技の部男子四種競技において大会新記録をマークし見事優勝。同時に全国標準記録を突破し、8月8～9日に山口県で行われた中国大会と8月18～19日に沖縄県で行われた全日本中学校陸上競技選手権大会にも出場し、さらに記録を更新されました。数々の上位大会への出場および好成績、おめでとうございます。今後もますますのご活躍をお祈りしています。



市道に動物の死骸を見つけたら



道路上にタヌキや猫などの小動物の死骸を見つけた場合は、下記までお知らせください。

平日(8:30～17:15): 出雲市役所環境政策課 TEL21-6535
上記以外(夜間、土日、祝日): 平田行政センター TEL63-3111
または 出雲市役所代表 TEL21-2211
(環境保全連合会伊野支部)